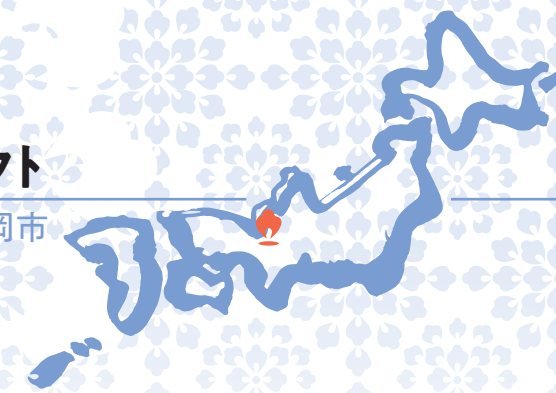




1 社会資本の概要

保津川は京都府西部を南東流する一級河川であり、亀岡盆地南東端から京都盆地西端の嵐山までの区間は山地を曲流しながら峡谷をなして流れています。

急流のうえ曲流するため、舟運が困難であったが、江戸時代に開削が行われ舟運が開け、丹波国

と山城国を結ぶ重要な交通路となりました。

現在は、兩岸が桜、新緑、紅葉の景勝地となっており、保津川下りの遊覧船、観光トロック列車でにぎわう京都近郊における著名な観光地となっています。



保津川の筏流し



保津峡と保津川下り



保津峡と保津川下り

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

保津川では90年代後半から大量のごみが漂着し、危機感を抱いた保津川下りの船頭による清掃活動が2004年にスタート。2007年にNPO法人設立以後、様々な団体等と連携した清掃活動を展開し、2012年には亀岡で「海ごみサミット」が開催され、内陸部におけるプラスチックごみ発生抑制の取組等に関する宣言が採択されました。「川と海つながり共創プロジェクト」は、この宣言を具現化する組織として2013年発足し、様々な団体等の参画を得て、清掃活動や環境教育を中心に幅広い活動を展開しています。

【こども海ごみ探偵団】

小中学生を対象に川下り体験と清掃活動とを同時開催。海岸調査も行い、内陸部からのごみの発生抑制の大切さを学ぶプログラムを実施しています。

【保津川の日(3月第1日曜日)】

こども海ごみ探偵団の提案により始まった市内最大の河川清掃イベント。ラフティングでの清掃活動やプラスチック素材を極力排したエコ屋台等を開催しています。



漂着ごみの現状



こども海ごみ探偵団



「保津川の日」清掃活動

3 活動の成果や波及効果等

参画するNPO法人が毎月開催している清掃活動は、2007年の発足以来、2021年3月で137回を数えます。

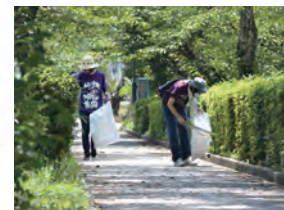
環境美化に向けた市民の意識向上は、亀岡市の各種施策にも良い影響を及ぼし、例えば、ウォーキングしながら誰でも気軽に清掃活動に参加する「エコウォーカー」事業には、1,000人を超える多くの市民が登録しています。

また、清掃活動等を通じて河川ごみに対する市民の理解が深まったことも原動力となって、2020年3月に全国初となる「亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例」が制定されました。

下流域の京都嵐山地区では、亀岡市内での清掃活動の結果、河川ごみが大幅に減ったという評価をいただき、保津川のごみ問題をテーマにしたシンポジウムが開催されるなど、上下流の交流拡大にもつながっています。



保津川クリーン作戦



エコウォーカー

バトンタッチ!



プラスチック製レジ袋の提供禁止啓発ポスター

喜びの声



受賞者

右から
豊田副委員長
大倉委員

コメント

今回の受賞は、母なる川「保津川」の豊かな自然と景観を守りたいという船頭有志から始まった清掃活動を関係者及び地域の皆様で継続してきた成果です。

今後も、プラごみのない豊かな自然を、これからの世界を生きる子どもたちに引き継ぐため、その想いを継承するとともに、活動を継続していきます。

活動の内容

- 『こども海ごみ探偵団』市内の小中学校生が川や海でのごみの清掃や調査を実施
- 大阪湾に流出し海岸に漂着したごみの調査を実施
- 『保津川の日』を定め、市民参加の一大清掃イベントを開催
- 市内小学校で環境学習を実施

活動の経歴

- 平成16年 観光事業者(保津川遊船企業組合)の船頭有志による清掃活動開始
- 平成19年 NPO法人プロジェクト保津川設立
- 平成25年 川と海つながり共創プロジェクト発足
- 令和3年 手づくり郷土賞(一般部門)受賞

所在地 京都府亀岡市(保津川)

活動主体及び連絡先 川と海つながり共創プロジェクト TEL:0771-20-2569

対象となる社会資本 保津川(一級河川桂川)

